



祝勝会で日本スーパーミドル級王座のベルトを手にする京原和輝選手と記念撮影する参加者＝上峰町のひよ子子ども園カゼマチ



祝勝会で日本スーパーミドル級王座のベルトを披露する京原和輝選手

王者、かずき先生、祝福

保育教諭ボクサー 京原選手 祝勝会に200人

上峰町
吉野ヶ里町

上峰町のひよ子子どもの園の保育教諭でボクシングの日本スーパーミドル級王者となった京原和輝選手(29)＝吉野ヶ里町Ⅱの祝勝会が4日、上峰町で開かれた。約200人が駆けつけて祝福し、後援会の立ち上げも発表された。勤務先のひよ子子ども園かみみねの系列園で開かれた祝賀会には、武広勇平町長や大川隆城議長ら町関係者、園児と保護者、支援者、地域住民らが参加した。

所属する博多協栄ジム(福岡市)の桑田将彦会長は「地方のジムからのタイトルは快挙。東洋太平洋、さらには世界に挑戦を」とたたえて激励した。京原選手は「これがゴールではなく、子どもたちに夢や挑戦することの大切さを伝えていく新たなスタート。ボクサー、保育教諭として成長し続けられるよう努力する」と支援に感謝した。参加者は京原選手のパンチの威力を緩衝材越しに体感したり、ボクシングのステップを使ったエクササイズを楽しんだ。

同日、防衛戦など今後の挑戦を応援するため、後援会組織が立ち上げられた。会長に、ひよ子子ども園かみみねを運営する社会福祉法人ガジュマルの今村一郎理事長が就いた。近く、防衛戦の準備や遠征費、子ども向けイベントなどのためのクラウドファンディングを行う。(古賀真理子)

